

No. 197 会報誌「ソフィアズナウ」 Spring 2025



Sophians Now



今回の地域ソフィア会全国大会は岩手県盛岡市で開催
詳細は裏表紙でご確認ください！！

上智大学ソフィア会 〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1 TEL: 03-3238-3041 FAX: 03-3238-3028
SOPHIA UNIVERSITY ALUMNI ASSOCIATION 7-1 Kioi-cho, Chiyoda-ku, Tokyo, 102-8554 Japan
ソフィア会Webサイト <https://www.sophiakai.gr.jp/> E-mail: info@sophiakai.gr.jp

発行/上智大学ソフィア会
発行人/鳥居正男 編集/上智大学ソフィア会広報委員会
発行日/2025年4月25日

第4回地域ソフィア会代表者会議開催報告

ソフィア会は、地域ソフィア会会員の相互交流と各地域ソフィア会活動の活性化及び連携促進を目的に、昨年につき第4回地域ソフィア会代表者会議を上智大学にて3月8日（土）に開催しました。

会議には、大学から永井学生総務担当副学長を来賓にお迎えし、全国の地域ソフィア会43団体の代表者とソフィア会から常任委員、組織委員等15名が加わり総勢61名にて実施されました。

組織委員会の杉浦副委員長の司会で議事が進められ、初めに組織委員長である川崎から、過去の代表者会議の変遷と今回の会議に先立って行われたアンケートの結果について報告



し、地域ソフィア会の活動実態と課題を提示しました。続く活動事例紹介では、関西ソフィア会とさいたまソフィア会からそれぞれユニークで魅力ある活動の数々が紹介され、会場は和やかな雰囲気になりました。

今回のグループ討議では、昨年と同様の4つの課題

1. コロナ後の活動再起動と魅力ある行事
2. 若手の参画と世代交代
3. 新規会員獲得方法とコミュニケーションツール
4. 近隣ソフィア会との連携

に加え新しいテーマ

5. 地域における上智大学のプレゼンス向上に地域ソフィア会ができること

についても活発な意見交換が行われました。他地域の話に真剣に耳を傾ける参加者も多く、討議後は3つのグループから課題解決に向けての前向きな対策を含めた発表が行われました。最後に組織委員長が全体の総括をして会議は無事閉会となりました。

その後行われた懇親会では、関西ソフィア会の辰巳会長からのご挨拶と乾杯のご発声の後、地域を超えた交流が続き、大変賑やかな会となりました。

▶ ソフィア会組織委員長 川崎晴夫（1978年経経）

2024年度学位授与式——約3,000人のソフィア会会員が誕生

上智大学は3月24日（月）、東京・有明の有明ガーデンシアターにおいて2024年度の学位授与式を執り行いました。例年会場としている有楽町の国際フォーラムが改修工事で使用できないため、初めて同シアターでの開催となり、ソフィア会は約3,000名の新会員を迎えました。

式典はカトリック・イエズス会センターの李聖一神父による祝福でスタート。曄道佳明上智大学学長の式辞に続いて、各学部・研究科の代表が登壇して、それぞれ学位記・修了証書を受け取りました。

その後、アガスティン サリ上智学院理事長から祝辞があり、次にソフィア会の鳥居正男会長が祝辞を述べました。鳥居会長は「社会の分断、ウクライナや中東の紛争、気候変動による自然災害の増加など、世界の見通しは極めて不透明です。一方我が国においても国際社会での地位の低下や少子化の加速など課題は尽きません。このような変化の激しい現代にあって、日本がグローバル化の流れから取り残されないために、また持続可能なグローバル社会の構築のために、皆さんが上智大学での学びを生かして社会にはばたき、持続可能な社会の実現に貢献してくれることを心から願っています」と卒業生への期待を述べました。さらに「旺盛な好奇心を持

つこと。貪欲に学ぶこと。日本の外に出て他国の文化に接し視野を広げ、自らを見直すこと。この3つをお願いしたい」とエールを送りました。

式典後、卒業生は四谷キャンパスに移動し、初春の暖かな日差しの中、あちらこちらで写真撮影や恩師、友人と語りあう姿が見られました。ソフィアンズクラブも開放され、多くの卒業生が訪れて歓談していました。



6 学年合同！卒業 5 年ソフィアン交流会を開催

2月1日(土)に卒業5年ソフィアン交流会を開催しました。2019年に開催された第1回以降、コロナ禍で実施できなかったため、今回は2015～20年に上智大学の学部を卒業された方を対象に6学年合同での開催となりました。2015～17年卒業生は午前、2018～20年卒業生は午後と2部制で実施、参加者は総勢100名を超えました。



2015～17年卒業生

卒業後それぞれの道を歩む中で、再び母校に集い、あらためて同級生との絆を作る機会とすべく、各卒業年の実行委員が中心となって数カ月にもわたり準備をしてきました。当日は、上智クイズ、フォトブースでの写真撮影、校歌合唱など楽しい企画で盛り上がり、多くの参加者から「ソフィア会との繋がりを続けていきたい」という感想をいただきました。



2018～20年卒業生

今年の4つの祝典

今年も卒業からの節目を祝う恒例の式典が2月22日(土)に開催されました。卒業15周年をお祝いする銅祝(2009年卒)には244人、金祝(卒業50周年・1974年卒)には347人が出席し、合同の式典が行われました。さらに時間をずらして銀祝(卒業25周年・1999年卒)には276人、ルビー祝(卒業40周年・1984年卒)には418人が出席し、同様に式典が開催されました。どの式典もその後に祝賀会が行わ

れ、それぞれの実行委員が工夫を凝らし、熱気にあふれる再会の場となりました。この記事をご覧になっている皆さんの中には、それぞれの該当学年でありながら、このイベントそのものを知らなかったという方もいらっしゃるかもしれません。ソフィア会ではこのほかにもさまざまな企画を用意しておりますので、公式Webサイトや毎月のメールニュースを都度確認していただくと嬉しいです。



銅祝・金祝合同式典



銀祝・ルビー祝合同式典

「キャリア支援 OBOG 交流会」開催報告

在学生在が若手 OBOG に実社会での体験について話を伺う企画「OBOG 交流会」が、キャリアセンター主催・ソフィア会後援で2月16日(日)にソフィアンズクラブで開催されました。今回の開催は昨年12月に続き2回目です。

学生は2年生を中心に61名、OBOGは2010年から2021年卒業の幅広い業種・職種の7名が参加しました。

最初にパネルディスカッションが行われ、やりがいを感じ



た仕事、くじけそうになった体験、仕事と育児・家庭の両立の苦労話などリアルな事例がOBOGから紹介され、学生たちも熱心に耳を傾けていました。

続いて行われた会社別個別交流会では、30分毎3回に分けて個別の座談会を実施。学生たちから活発な質問が飛び交い、普段なかなか聞くこ

とができない本音の話をぎっくばらんに聞くことができたこと、大変好評でした。

若手ソフィアン インタビュー

2024年の春号でご好評いただいた本企画。今回は2名のソフィアンにお話を伺いました。

なかじま ゆかこ

仲島由佳子さん

2010年経済学部経営学科卒業
楽天グループ株式会社勤務

仲島さんは2021年に現在の会社に転職し、EC広報課で活躍されている。楽天グループが提供している約70種類のサービスの内、仲島さんの部署では20種類ほどのサービスに関する広報をカバーしている。

学生時代に参加していたサークルは2つ。1つは「智深館」という、経営や政策の分野を実体験で学んでいくという経営政策サークル。具体的な活動内容を伺ったところ、実際に営業している店舗を1日借り切って営業し、大学で学んだ簿記の知識を実践してみたり、某銀行のシンクタンクのアドバイスをもらいながら、市民にインタビューして子育てをしやすい街とはどんな街かを分析し、市当局に政策を提言してみたりと、さまざまな思い出を語ってくれた。こうして学生時代にたくさんの人と関わったことが今につながる学びとなった。ゼミの専攻は「事業創造論」だったそうなので、まさに教室を飛び出した実学をサークルで体験されたということか。

もう1つのサークルはスキューバダイビング。残念ながら現在はなかなか海に潜る機会がないそうだ。というのも実は彼女は7歳、10歳、12歳の3児の母。

「3人分なので、保護者会、面談、授業参観×3の生活なんです」

仕事に家庭に大忙しの毎日だが、職場では同じ部署の9人中7人が子育て中とのこと。したがって平日の夜の食事会な



どは難しいが、土日に家族同伴でバーベキューをしたりして親睦を深めている。

「家庭のこと、子育てのことを含め、互いに相手の状況を知っておくことが非常に重要です」

プライベートも含めて同僚と理解し合っていることで、仕事もうまく回るのだという。

最後に今後の希望と現役生へのメッセージを伺った。

「子育てをしていると子供たちは宝だと日々実感しています。子育てがひと段落したら、子ども食堂とか、子供たちにより良い環境を提供するような分野で自分の経験を生かしていきたいです」

そして後輩たち特に女性の後輩たちにはこう語る。

「やりたいことはすぐにやった方がいいです。家庭を持つとやはり育児や家事という面では母親の担当部分が多くなり、独身時代にできていたことができなくなるというのも事実です」

シビアなメッセージとも受け取れるが、インタビューの最中笑顔を絶やさず話をしてくれる仲島さんは、仕事の面でも、3人のお子さんに囲まれたプライベートの面でも、大変充実した日々を送られている印象を受けた。

みなみ よしたか

南吉隆さん

2019年総合人間科学部
社会学科卒業
日本航空株式会社勤務

南さんは入社してすぐに福岡空港に配属となり、お客さまのご案内や、運航に関する乗務員との



調整などを担う地上係員の業務に携わった。2020年からのコロナ禍では、出入国規制のルールが数時間ごとに変わるなど、特殊な状況下でのプレッシャーのかかる業務も経験。その後2020年秋に本社勤務となり、現在の財務部に配属された。財務知識をまったく持ち合わせておらず、当初は大変だったそうだが、先輩の指導と自身の勉強のかいもあり、今では会社全体を俯瞰して、強みや課題を考える視点が身につけてきたという。

そんな南さんが現在の会社に興味を持ったのは、上智大学で過ごした日々結びついている。

「アジアの子どもたちの自立を支えるサークルに所属していました。毎年夏休みに、インドやフィリピンに滞在して支援先施設の見学をしたり、子どもたちと交流したりしていたのですが、ひと月もたつと日本が恋しくなってきました。そんなとき、デリーの空港で日本航空のマークを見るととても安心し、自分が日本人であることを実感しました」

また、商談などで海外を訪れ、プロジェクトを進めて現地雇用を生む、といったさまざまな仕事をしている人々の移動を支えることで、間接的にでも「架け橋」となる仕事に興

味を覚えたようだ。

上智大学での経験が役立っている、と社会人になってから実感したことの一つに、英語での授業があるそうだ。

「受験勉強とは別に、実際に話して自分の意思を伝えるというレベルになれたのは大学のおかげです。今、業務で英語をよく使うので助かっています」

教授が政府機関などとのチャンネルから専門家を講師に招いたパネルディスカッションなどに参加する機会も多かったそうで、その意義を今感じているという。

「興味の赴くままに、そういったパネルディスカッションに参加していました。授業とは関係がなくても、前中米大使の方だったり、外務省の審議官の方だったり、ふだんはお目にかかれないような方のお話を聞ける自由参加型のイベントがふんだんにあって、おかげで自分の知見を広げられたと思います。学生の皆さんには、そういった機会をぜひ生かしていただきたいですね」

今後は、提携する航空会社を増やす事業や新しい路線を作る事業にも携わってみたいと語る南さん。学生時代から続く世界各地での「架け橋」としての活躍に期待したい。

留学してきました！

「ソフィア会留学支援奨学金」制度を利用してイギリスに留学し、昨年帰国された広岡 鈴さんに、留学の成果をお伺いしました。

※広岡さんには「ソフィアズナウ」2023年秋号で、留学前の心境などをインタビューさせていただいています。

ひろおかりん 広岡 鈴さん

総合グローバル学部 4年生

広岡さんは、ロンドン近郊のハートフォードシャー大学に留学して、社会学、哲学、芸術、政治・経済の授業を受講した。言葉の面では、英語を聴き取れるようになるまで1カ月くらいかかり、特に哲学の授業は、英語力の面だけではなく、課された課題の趣旨を理解するだけでも最初は苦労したようだ。そうした日々の授業の中で感じたことは、勉強に対する学生の熱量の強さ、積極さだという。例えば授業の課題の中には5分程度の映画の製作もあったが、すでに母国で映画を専攻していた学生もおり、グループワークを大切に作った作業がとても充実していた。

住まいはキャンパス内にあるフラットに11人の仲間と一緒に共同生活。夜は一緒にご飯を作ったり、図書館で一緒に勉強したりと、友達同士の距離が近く、プライベートでも互いに助け合う濃密な時間を過ごせたそうだ。そこで築き上げた人間関係が今では貴重な財産になっているとも。

留学期間中にイギリス以外にも15か国を訪問した広岡さんは、さまざまな出会いを経験する中で考え方や視野が広がっ



たと喜ぶ。エジプトにも足を運び、カイロから12時間もかけてシワという街を訪れ、現地の方たちとAI翻訳を使いながら会話をして友達になれたことも、忘れられない思い出だ。

「1年間の留学を乗り切ったことも自信になり、いろいろなことに挑戦できる自分になって帰ってきました」

日本にいるときには「自分の目標を達成するためには、こうしなければ」のように、行き先を決めたレールのようなものを感じていたが、そうした「自分の中の凝り固まっていた部分を留学経験がよい意味で壊してくれた」そうだ。

23歳で大学1年生を始める人、在学しながら起業して実体験を積む人などなど、いろいろな生き方をする人たちを目の当たりにして、今、広岡さんはこう思う。

「目の前に引かれているレールが必ずしも正解ではなく、色々な生き方があることを学びました。自分の目標に向かって進んでいけば、それが自ずと正解になっていくのだと思います」

今後は「芸術業界をビジネスの面からサポートするような仕事に就きたい」という広岡さんに、これから留学を目指す人たちへのメッセージをいただいた。

「一人で1年間見知らぬ国で過ごす留学は不安がいっぱいだけど、誰もが経験できるというわけではない貴重な機会を逃さないでください！」

ソフィアンズクラブのオープンデー 開催報告

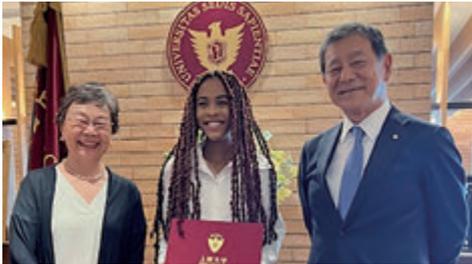
9月20日（金）、秋季学位授与式の日に合わせてソフィアンズクラブのオープンデーを開催し、卒業生、留学生の来館者には、飲み物と記念品を差し上げました。

今回卒業された留学生の中には、民族衣装で参加して下さった方もいらっしゃいました。「今後は、母国と日本、上智大学の橋渡しをしたい」という夢を語る方もいらっしゃり、そのメッセージに込められた「ソフィアンスピリット」に感

銘を受けました。

今後も、春・秋の卒業式や各祝の式典の当日には、ソフィアンズクラブのオープンデーを開催して、卒業生に「ソフィア会」や「ソフィアンズクラブ」の存在を強くアピールしていきたいと思ひます。

▶ ソフィアンズクラブ委員会 江南隆司（1994 理化）



第9回「ソフィアン国家公務員と話そう ～日本、世界で活躍する先輩たちへ国家総合職という選択肢へ」を開催

1月11日（土）、上智大学国際関係研究所主催・ソフィア会共催の下、第9回「ソフィアン国家公務員と話そう～日本、世界で活躍する先輩たちへ国家総合職という選択肢へ」を対面にて開催、40名以上の学生が参加しました。

前半（Session I）は2号館17階会議室にて、鳥居正男ソフィア会会長の開会の挨拶、安野正士国際関係研究所所長の主催者挨拶の後、藤崎一郎元駐米大使（元本学特別招聘教授）の基調講演、パネルディスカッションが行われました。後半（Session II）は6号館ソフィアンズクラブの会議室に移り、参加学生が国家I種・総合職の方々と直接意見交換ができるラウンドテーブルを行いました。

基調講演では、藤崎元駐米大使が自身の経験を交えながら



「公務員は人のためになるという上智の精神に合っている。上智の学生は総合職試験を受ける力がある。合格した時点で選ばれているので、世間の思い込みのよ

うな学閥はない」と、総合職への挑戦を勧めました。

パネルディスカッションには、本学卒業生の山本文土外務省総合外交政策局参事官（1995 法国）、中村美理防衛省防衛政策局日米防衛協力課防衛事務官（2021 法国）、山本愛外務省国際法局国際法課外務事務官（2022 法法）、加藤はるか財務省国際局総務課財務事務官（2022 経経）に加え、特別ゲストとして他大学出身の高柳啓太外務省大臣官房人事課課長補佐、重松翔平防衛省大臣官房秘書課防衛部員が参加。このほか、今年度の国家総合職合格者で本学在学中の三部真和さん（2024年度特許庁国家総合職内定者）も参加し、活発な議論が繰り広げられました。

ラウンドテーブルでは、藤崎元駐米大使や特別ゲストを含むパネリストと学生が6つのグループに分かれて双方向に活発な意見交換がなされ、終了時刻を迎えたあとも卒業生やゲストを囲んで熱心に質問する学生の姿が多く見られました。

全体を通して、藤崎元駐米大使、国家総合職として第一線で活躍する卒業生や外務省・防衛省の採用担当者、および今年度の合格者より、志望理由・試験準備対策、業務のやりがい、さらには国家公務員として求められることなど様々な話が繰り広げられ、参加学生にとって大変貴重な機会となりました。

第1回 女性ソフィアン・リーダーズサロン開催—女性リーダーたちの輪を広げて

3月7日（金）、「第1回 女性ソフィアン・リーダーズサロン」が上智大学四谷キャンパスのソフィアンズクラブにて開催され、28名の女性ソフィアンが参加しました。次期上智大学学長の杉村美紀先生のご挨拶で開会。温かくユーモアあふれる先生のスピーチで会場内の緊張が一気にほぐれ、和やか

な雰囲気の中でイベントがスタートしました。

続いて、外国語学部イスパニア語学科卒業でエステー株式会社会長の鈴木貴子氏による講演「ガラスの天井を打ち破り、空気を変えよう！」が行われました。豊かな経験に基づく女性リーダーとしての鋭い洞察に加え、ふだんは語られること

のないプライベートな一面も披露され、鈴木氏のキャリアを貫く揺るぎない信念が参加者の心を打ちました。

後半のディスカッションタイムでは、世代や業界を超えた活発な意見交換が行われ、参加者同士の新たな気づきやつながりが生まれる場となりました。終了後「とても有意義な時間だった」「今後も継続的に開催してほしい」といった声が多く寄せられ、ソフィアーズスピリットを共有する女性リーダーたちのネットワーク構築に向けた大きな一歩となりました。



新学長の杉村美紀先生（最前列中央）を囲んで参加者の皆さん

第33回コムソフィア賞 エッセイストの三宮麻由子さんが受賞

1月16日（木）、第33回コムソフィア賞の授賞式と記念講演会が2号館17階の会議室で行われました。受賞者はエッセイストとして活躍されている三宮麻由子さん（1991文仏・1993院文仏）。

鳥居正男ソフィア会会長の挨拶に続き、永井敦子上智大学学生総務担当副学長から祝辞をいただきました。その後、マスコミ・ソフィア会の大越武会長から選考経過の報告、賞状と副賞（元内閣総理大臣の細川護熙さん制作の「青白軸向付」）の贈呈があり、受賞者挨拶で三宮さんは、「このような賞をいただいて本人が一番驚いています。とても嬉しいです」と率直に喜びを表されました。

記念講演「挑戦には価値がある、スマホで開かれた新未来」では、自作の絵本『おいしい おと』のスライドを見ながらの朗読で、心温まる三宮さんの世界が会場に広がりました。また今回の受賞理由にもなった近著『わたし



のeyePhone』で描かれた、視覚障害者のスマホ活用術を実演。アイコンをタップすると3倍速の音声で情報が流れ、その研ぎ澄まされた能力に会場では感嘆の声があがりました。「iPhoneを使いこなすことによって、助けられてばかりの立場から人を助けることができるようになり、老齢の両親に贈り物ができるようになりました。自尊心が芽生え、それまでわからなかった尊厳を大切にしたいです」と話され、参加者の感動を呼びました。

懇親会では、昨年の受賞者で日本ペンクラブ副会長の今野敏さんが来賓として駆けつけてくださり、ペンクラブ会員でもある三宮さんの特別な才能に祝辞を述べられました。もうひとりの来賓の師岡文男名誉教授は、体育の教員として関わった38年前の思い出を語られました。三宮さんへの挨拶の列が途切れず、60分弱の懇親会はあっという間に時間が過ぎました。

第6回ザビエル杯日本語スピーチコンテストを開催

12月8日（日）、第6回ザビエル杯日本語スピーチコンテストが開催されました。今回は過去最多となる47名の応募があり、書類選考後、13大学13か国の留学生16名に登壇していただきました。スピーチのテーマは「日本にきて学んだこと」。

審査委員長に鳥居正男ソフィア会会長、審査員に黒水則顯氏（前株式会社WOWOW相談役、一般社団法人日本車いすテニス協会理事）、市来弘志氏（青山学院大学国際政治経済学部コミュニケーション学科准教授）、須藤明弘氏（元アサヒ

フードクリエイティブ株式会社社長、元獨協大学同窓会会長）、大野均氏（元ラグビー日本代表、東芝プレイブルーパスアンバサダー）、土生英里氏（静岡大学学術院融合・グローバル領域法実務部門教授）を迎え、各国の留学生が日本に来て学んだことについてスピーチを行いました。

コンテスト後の懇親会も、登壇者や応援の各大学の先生方や友人、上智大学生が参加して、国籍や大学の壁を越えた温かな交流の場となりました。

●入賞者は次のとおり

- 1位 ジュリア メリー フォーランさん（東京大学 イギリス）
- 2位 欧佳恵さん（獨協大学 中国）
- 3位 スー ヤダナーさん（東京外国語大学 ミャンマー）
- 審査員特別賞 崔権能さん（青山学院大学 韓国）
- 上智大学賞 黄楠さん（産業能率大学 中国）・グエン タイ
ダットさん（関東学院大学 ベトナム）
- 大野賞 金載潤さん（青山学院大学 韓国）
- ラグビー賞 ダウン ヒマンシュさん（獨協大学 インド）・
ゴー ミンハンさん（上智大学 ベトナム）



2024 ソフィアンズカップゴルフ大会を開催

9月30日（月）に第29回ソフィアンズカップゴルフ大会が開催されました。今回の会場は、1922年開場、日本人用としては国内初となる18ホールを備えたゴルフ場であり、第1回の日本オープンゴルフ選手権の開催コースでもある、「程ヶ谷カントリー倶楽部」。

ゴルフ好きなら1度はプレーしたいとあこがれるこの日本有数の名門クラブに、144名のソフィアンが集いました。

当日は少し雨が降ったものの、おおむね過ごしやすい天候の中、プレーを楽しみながら、ソフィアン同士の懇親を深めるなど楽しいひと時を過ごしました。コロナ禍と同様、懇親会・表彰式は今回も実施を見送りました。

●主な成績は次のとおりです。

優勝者 前田悦男さん（1971 法法）

準優勝 森本義晃さん（1987 法法）

ショートホールでは恒例のチャリティーを実施。集まった224,000円を10月4日に上智学院に「ソフィア会奨学基金」として寄付しています。賞品提供などご協力いただきました皆様に感謝をお伝えするとともに本年も皆様の参加をお待ちしています。

第28回オールソフィアンズ 健康マラソン大会

現役体育会主催のマラソン大会に体育会OB会が参加する形で、「オールソフィアンズ健康マラソン大会」が12月14日（土）、皇居外苑で開催されました。当日は冷え込みの厳しいお天気でしたが、マラソンの部28名、ウォーキングの部13名（ご家族含む）が参加、全員完走・完歩を果たしました。

今回は現役実行委員会と早期に打ち合わせを開始し、開会と閉会ではともに集合し、また現役・OBが同時にスタートするなど、現役とOBがともに盛り上がる大会となりました。

一方「オールソフィアンのクリスマス」と日程が重なってしまい、より多くの方に参加を呼びかけることができませんでした。来年は早期に日程を確認し、協力を得られるようにしていきたいと考えています。



成績（敬称略）

■ベストタイム

男性：鳥海一仁

（18分37秒）

3連覇

女性：増田愛子（22分42秒）

■クラス別順位（ベストタイム入賞者を除く）

[女性] 2位：庄内菜穂子（23分31秒）

3位：嘉本梨奈（26分33秒）

[男性62才以下] 2位：石井周二（20分26秒）

3位：井坂仁志（20分27秒）

[男性63才以上] 1位：光明圭介（21分58秒）

2位：細野健二（25分21秒）

3位：下川恒司（26分55秒）

◆団体（3名でエントリー、3名平均タイムで順位を決定）

1位：SRC（21分13秒）

2位：サッカー部OB（26分06秒）



All Sophians' Christmas

「オールソフィアンのクリスマス（ASC）2024」が12月14日（土）、四谷キャンパス内の11号館地下の食堂にて開催されました。ASC始まって以来、最大人数である533人の方がご参加くださいました。集まってくださったソフィアンとそのお息子たちに心より御礼申し上げます。ソフィアらしいアットホームな内容で、クリスマスを知っていただく良い機会だったと思います。2025年も開催予定です。ぜひ、ASC専用のSNSをフォローしてください！またお会いできることを楽しみにしております。



ソフィアの広場

各団体の活動詳細はソフィア会 Webサイトにアクセスしていただき、「登録団体（海外、国内、各種、学部学科）→新着情報」と進んでいただいてもご覧になれます。

海外ソフィア会



サンティアゴ・ソフィア会

開催日:9月1日

曄道学長、Huang 教授、波多野経営企画グループ長、伊藤恭子駐チリ日本国特命全権大使をお迎えしました。



ソウル・ソフィア会

開催日:9月23日

ソウル市内の東大門市場近くのウズベキスタン料理店で開催しました。



トロント・ソフィア会

開催日:11月2日

会長の大石正子さんのご自宅にお招きいただき、6名のソフィア人とご家族が集いました。



台湾ソフィア会

開催日:11月22日

善導寺駅付近の台湾料理店「北海漁村」にて親睦夕食会を行いました。



サンパウロ・ソフィア会

開催日:11月24日

市内在住の幹事のアパート内イベントルームにて、第3回「忘年ソフィア会」を開催しました。



香港ソフィア会

開催日:12月6日

曄道学長、森下副学長、地球環境学研究科の黄委員長、グローバル教育推進室の寺平様をお迎えしました。



ベルギー・ソフィア会

開催日:12月8日

ブリュッセル旧市街でフォンテュー・ラクレットを囲んで忘年会を開催しました。



フランクフルト・ソフィア会

開催日:12月14日

フランクフルトのクリスマスマーケットに面したレストランで忘年会を行いました。



アムステルダム・ソフィア会

開催日:1月12日

新年会で、曄道佳明学長とグローバル教育センターの中野真希さんから上智大学の近況を伺いました。



デュッセルドルフ・ソフィア会

開催日:1月18日

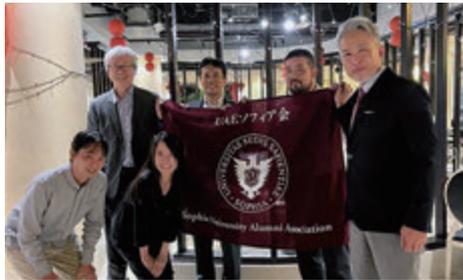
市内の和食レストラン「日向」で新年会、総会を開催しました。



ミュンヘン・ソフィア会

開催日:2月8日

旧正月にちなんで、市内の中華料理レストランに11人のソフィアンが集いました。



UAEソフィア会

開催日:2月13日

アブダビから2名、ドバイから4名のソフィアンが集まって、火鍋を囲み、さまざまな話題に花を咲かせました。



アイルランド・ソフィア会

開催日:2月16日

ニューヨークへ赴任される大山匠さん・舞さん夫妻を囲んでレストランThe Leinsterで、ランチタイムを楽しみました。



シドニー・ソフィア会

開催日:2月18日

シドニー市内の和食レストラン「ゴールドクラス達磨」で懇親会を開催しました。



ワシントンDCソフィア会

開催日:3月7日

曄道佳明学長の米国出張に際し、格式あるコスモス・クラブで懇親会を開催しました。



宮崎ソフィア会

開催日:8月10日

第35回九州ソフィア会熊本大会前に、『江戸銀』で(ミニ)宮崎ソフィア会を開催しました。



返葉ソフィア会

開催日:9月7日

返子開成中学校・高等学校の海洋教育センターをお借りして、5年ぶりに開催しました。



岩手ソフィア会

開催日:11月2日

組織委員会副委員長の杉浦さん、八戸ソフィア会副会長の佐久間さん、をお招きしました。



とがち帯広ソフィア会

開催日: 10月26日
帯広市内「ふじもり」にて、1年ぶりの総会および懇親会を開催しました。



九州ソフィア会

開催日: 10月26日
九州の各ソフィア会の集合体である九州ソフィア会を熊本市で開催しました。



八戸ソフィア会

開催日: 10月26日
「八戸パークホテル」において、2024年度総会及び懇親会を開催しました。



滋賀ソフィア会

開催日: 11月9日
近江八幡市の近江牛レストラン「寛閑観」で第14回総会、懇親会を開催しました。



埼玉西部ソフィア会

開催日: 11月10日
所沢パークホテルのバンケットルームにて、総会を開催しました。



鹿児島ソフィア会

開催日: 11月16日
ホテルグランセレッソ鹿児島の「薩摩彩膳さずな」にて定例会を開催しました。



広島東部ソフィア会

開催日: 11月16日
福山ニューキャッスルホテルの中華料理店「又来軒」にて、第12回懇親会を開催しました。



足利・佐野・栃木ソフィア会

開催日: 11月23日
「あしかがフラワーパーク」内の施設で、第12回総会と懇親会を開催しました。



アルプス・ソフィア会

開催日: 11月24日
ホテル・モンターニュ松本にて「ワインを楽しむ会」を実施しました。



日野ソフィア会

開催日: 11月24日
今回も組織委員長の川崎晴夫さんをお招きし、全国に74ある地域ソフィア会についてお話いただきました。



文京ソフィア会

開催日: 11月30日
四ツ谷の「カフェ・アマルフィー」にて。マスターは元会員で前香港ソフィア会会長の松田憲明さん。



千曲川ソフィア会

開催日:11月30日

サリ理事長や姉妹ソフィア会のアルプス・ソフィア会のメンバーをお招きし、総会を開催しました。



山口県ソフィア会

開催日:11月30日

山口市にて開催。ソフィア会本部からの参加者の方にも山口県の魅力を発信できました。



宮城ソフィア会

開催日:12月7日

来賓として川崎晴夫組織委員長らをお招きし、5年ぶりに開催しました。



中野ソフィア会

開催日:12月19日

中野駅北口にある「さかな酒場魚屋」にて忘年会を開催しました。



福岡ソフィア会

開催日:1月25日

今回の新年会には初参加の方も増え、幅広い年齢層から参加がありました。



静岡県ソフィア会

開催日:2月8日

静岡市内の中島屋グランドホテルにて懇親会を行いました。

各種ソフィア会



石川ソフィア会

開催日:2月9日

金沢東急ホテルのレストラン「マレ・ドール」にて、新年会を行いました。



富山ソフィア会

開催日:2月24日

富山県民会館にて、新年会を開催しました。



上智不動産ソフィア会

開催日:5月12日

太平洋クラブ市原コースで当会主催のゴルフコンペを開催しました。



三水会

開催日:7月30日

株式会社ミラサス代表取締役の堀澤憲己さん(2016 法法)をゲストスピーカーにお迎えしました。

サッカー愛好会 イーグル

開催日:8月31日

学内の学生食堂にて60周年記念パーティーを開催しました。



上智大学体育会ワンダーフォーゲル部OB会

開催日:10月5日、6日

2日間にわたって恒例のOB会山行を開催しました。



上智大学グリークラブOB会

開催日:9月23日

上南交歓演奏会を6年ぶりに開催しました。



ソフィア経済人倶楽部

開催日:10月26日

ワイナリー訪問と圃場でのジビエのランチを行いました。



上智アドバンテージT. T. OB会

開催日:10月20日

創設50周年記念パーティーを開催しました。



SPEECCソフィア会

開催日:11月2日

四ツ谷のイタリアンレストランに6名が集合し、ミーティング及び懇親会を開催しました。



井上英治先生ゼミOB・OG会

開催日:11月4日

20回目となる井上先生のお墓参りを有志で行いました。



上智大学体育会OB会

開催日:11月16日

上智大学1号館において、上智大学体育会OB会「秋の会長会」を開催しました。



ニューヨーク東京会

開催日:12月8日

ニューヨーク本店の雰囲気を楽しめる品川駅構内の「グランドセントラル・オイスターバー」で東京会を開催しました。



上智大学体育会ソフトテニス部OB会

開催日:12月7日

ソフィアンズクラブで創部60周年記念祝賀会を開催しました。



東京下町ソフィア会

開催日:1月8日

「帝釈天初詣&草団子」の催しを開催しました。



メディア&エンタテインメントソフィア会

開催日:2月25日

ソフィアンズクラブで懇親会を開催しました。



法学部同窓会

開催日:10月23日

紫カントリークラブあやめコースにて法学部同窓会主催第10回「ゴルフ会」を開催しました。



史学科同窓会

開催日:11月30日

17回目となる秋の見学会を千葉県本八幡にて開催しました。



英文学科同窓会

開催日:11月30日

若手講師神田ようかんさん(井上寛斗さん、2019卒)の独演会をソフィアンズクラブにて開催しました。



ポルトガル語学科同窓会

開催日:12月1日

安井啓之さん(1984年卒)を講師に迎えたカジュアルな講演会・忘年会に、音楽好きのメンバーが集いました。

訃報

※敬称略

2024年 4月12日	美馬 美千代	上智大学元専任教員(旧文学部保健体育研究室)
9月13日	金 東海	上智大学名誉教授(旧理工学部電気・電子工学科)
11月24日	坂野 良吉	上智大学元専任教員(文学部史学科)
2025年 2月9日	フランツ・ヨゼフ・モール	上智大学名誉教授(外国学部ドイツ語学科)
2月22日	エドワード・ホルヘ・アンソレーナ	上智大学元専任教員(旧文学部人間学研究室)
3月6日	笠 耐	上智大学元専任教員(理工学部物理学科)

**ソフィアンズカード
WEB入会のご案内**

ソフィア会では三菱UFJニコス株式会社と提携して「ソフィアンズカード」を発行しています。

加入対象は、ソフィア会会員とそのご家族、準会員(就職内定者)、上智大学教職員。

このカードを利用すると、カード会社から利用代金の一部がソフィア会に還元されます。

個人向けカードと併せて、法人や個人事業主を対象とした三菱UFJカード ビジネスもご用意しています。

大学と現役学生支援のため、ぜひソフィアンズカード、ビジネスカードにご加入ください。

ソフィア会 Web サイトから入会が可能です。右記QRコードよりお申込みください。



**ソフィアンズカード
(一般)**

年会費1,375円(税込)



**三菱UFJカード ビジネス
(ゴールドプレステージ)**

年会費11,000円(税込)
(今なら初年度無料)





ソフィア会維持会費（運営協力費）について

ソフィア会は、最終年次の学費納入の際に一括して納める「ソフィア会終身会費」とは別に、卒業後に任意で納めて頂く「ソフィア会維持会費（運営協力費）」により運営されております。税制上の優遇措置はありませんが、ソフィア会の各活動に対して迅速かつ機動的に充当させていただきます。学部・学科同窓会、クラス、クラブ、サークルなど、団体での納入も受け付けております。

●「ソフィア会維持会費（運営協力費）」の単位

原則は1口3,000円となっておりますが、たとえ少額でも大歓迎です。

●用途

- ・会員相互の親睦活動
ASF・ASC・講演会等のイベント、会報誌の発行、ソフィアズクラブの運営など
- ・母校への貢献活動
ソフィア会奨学金の給付、学生の課外活動支援、母校の教育研究活動への支援等

●納入方法

1. 銀行振込

- (1) 三菱UFJ銀行 / 四谷支店 (店番 051) 普通 0410321 口座名義: ジョウチダイガクソフィアカイ
 - (2) 三井住友銀行 / 麹町支店 (店番 218) 普通 5139304 口座名義: ジョウチダイガクソフィアカイ
 - (3) ゆうちょ銀行 / O-9 (ゼロイチキュウ) 店 (店番 019) 当座 0336818 口座名義: ジョウチダイガクソフィアカイジカイヒ
- 「卒業年（西暦）」と「卒業学部名の漢字一文字」をカタカナで、お名前（カタカナ）の前にご記入ください。
ご記入例: 2001年経済学部ご卒業の紀尾井一郎さん → 2001ケイ・キオイイチロウ

2. 郵便振込

ソフィア会事務局までご連絡ください。郵便局専用の「払込取扱票」を、お送りいたします。

3. 自動引落し（年払い制）

ソフィア会事務局までご連絡ください。「預金口座振替依頼書・自動払込利用申込書」をお送りします。
毎年12月6日にお届出の金融機関口座から指定金額が自動引落としされます。金額は、3,000円、5,000円、10,000円のいずれかをご指定ください。

お問い合わせ

上智大学ソフィア会事務局

TEL 03-3238-3041

E-mail : info@sophiakai.gr.jp

会員番号がわかりの方は通信欄にご記入ください。

02 東京		払込取扱票				通常払込料金 加入者負担													
口座記号番号						金額													
0	0	1	7	0	1	3	3	6	8	1	8	千	百	十	万	千	百	十	円
加入者名 上智大学ソフィア会維持会費						料金	備考												
フリガナ 氏名				フリガナ 旧姓		卒年(西暦) 年		学部 学科											
住所 〒						電話番号 ()													
電子メールアドレス						通信欄													
<input type="checkbox"/> 匿名希望 (レを付してください)						会員番号													
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号 東第49663号)						これより下部には何も記入しないでください。													

各票の※印欄はご依頼人において記載してください。

切り取らないでお出ください。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	0	0	1	7	0	1	通常払込 料金加入 者負担
加入者名	上智大学ソフィア会 維持会費						
金額	千 百 十 万 千 百 十 円						
ご依頼人	おなまえ ※						
料金	日 附 印						
備考							

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押しつけてください。

この受領証は、大切に保管してください。

第13回 地域ソフィア会全国大会 岩手大会開催のご案内

今回の地域ソフィア会全国大会は岩手県盛岡市を会場に開催されます。当日は、「世界で活躍する岩手出身の若者・アスリート」をテーマに、スポーツライターでノンフィクション作家の中島大輔さん（2002年外国語学部ポルトガル語学科卒）と、地元紙の記者による対談なども予定しています。翌日には岩手の観光を楽しんでいただくエクスカージョンもご用意。皆様のご参加をお待ちしております。



日時：2025年9月13日（土）、14日（日）

お問合せ：岩手ソフィア会事務局 iwate.sophia@gmail.com

※7月を目途に受付開始予定。

上智地球市民講座 2025年度秋学期受講生募集

上智地球市民講座は、「社会課題」「技術革新」「社会変革」をメインテーマにした現代に必要な教養が身につく公開講座です。昨年度は卒業生を含む多様な年代、立場、バックグラウンドの方々計821名が学ばれ、受講満足度は96%でした。

2025年度秋学期は7月初旬（予定）に受講生を募集いたします。（本学卒業生は割引有）

本講座の詳細の確認、お申込みは、下記のWebサイトにアクセスしてください。

<https://sgcp.sophia.ac.jp/>



（ご注意）

- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
- ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。



この場所には、何も記載しないでください。